

別記

三度親愛なる町民諸彦に訴ふ

善戦爲に三十有餘日私達争議團は餘裕解々として工場側の動きを静視して来ましたが工場側に於きましては、今村カミ郎氏宮城勇仁氏の二辯護士に争議團と稱衡を一任してありましたが工場主々専横のまゝを上手に衝するだけで問題の骨子に觸れては何卒の主責任を肩せぬ辯護士のことでありますから争議團に於きましては正式交渉成立を要求して止まず、遂に来る二十二日午後一時より工場事務所にて工場側は、高店主吉井安吉氏工場主吉井秋華郎氏支配人三島松之助氏宮城兼護士の四氏争議團からは関東合同労働組合主席細谷松太氏全高田支部長今相神作氏従業員田中章一氏西山角次郎氏前田謙之助氏宮澤午治氏六氏が正式に會見を致しことになりました此の會見に於て果して解決の曙光を見出し得るや不之は二工場主の誠意如何と今村宮城二辯護士の態度如何に依つて決せらるべきと信ずるものであります辯護士は問題の根本に觸れては決して責任をいふと信ずるが本争議に對して徒らに問題を玩弄し工場側に劣悪な依頼心を固持せしめて労資両者の關係を益々迷宮に陥れんとした傾向があるからであります又工場側に於て近代的労働者何者かを悟り従業員として奮闘視することなく辯護士また本問題に對して日頃取扱ひなれた事件視することなく英に社會道徳に立脚せる人士として来るべき會見に私達争議團と接衝するにらば解決の可能自づから見出されるべきであります。

然し互から工場側に於ては労働組合を怪物視し労働争議を労働者之犯罪とする今日迄の態度を以て相會するに非ざるは交渉は主所に破れ争議團は同時に決戦を聲明するであります。工場では現在十人はかりの強さから争議團は去る十九日争議團本部に於て此際工場主が鉅額金銭的に出で、彼が罷業破りを入職せしめ争議團より犠牲を出さんとするが如きことあらば争議團は全員一歩とあり門を永久に出入しなさいませう。

同時に私達も既に依つて今日までの眞實有名をあらわした日々出向島印の夏帽は私達も既に依つて名を変へて吉安商店より他に移植されるであります。私達争議團は辭かに決意して三十日の午後一時を待つて居ります。